



園だより

みなみ

12がつ

令和7年12月1日
目黒区立南保育園園長

裏庭にある柿の木の葉が赤やオレンジ色になり、景色がぱっと明るく感じられます。今月幼児クラスでは表現活動のひとつとして「にこにこ参観日」を行います。1階フロアーはセリフの言い回しや、歌や合奏の音で大変にぎやかです。ある日、5歳児クラスの子どもが人数報告当番で事務所へ来たときに、にこにこ参観日について「前は（小さいクラスのときは）恥ずかしくて小さい声でしかセリフを言えなかったけど、今は簡単になったんだ」と言いました。「とても大きな声でセリフを言えていたからびっくりしたよ。なんで簡単になったんだろうね」と話をすると「わからない」と答えたので「大きくなってきくと色々な事に自信がついたんじゃないかな」と返すと「そうだね」と誇らしげに、そして控えめに笑っていました。

どんな形でも一人ひとりが自分らしさを大切に表現しようとする姿に、大人も心豊かに関わりその子自身が持っている力を伸ばしてあげたいと思います。

行事予定



にこにこ参観日

(3. 4. 5歳児)

0歳児検診

身体測定、避難訓練(全園児)

子どものつぶやき

4歳児クラス

お部屋で遊びながら保育士と話をしている時のこと。

子ども 「たくさんあるんだよ」

子ども 「え? カツサンド

ぼくもカツサンド好き」

「たくさん」が「カツサンド」に聞こえたようです。おなかですいていたのかな

乳児お楽しみ会がありました



0歳児、1歳児、2歳児の乳児クラスがホールに集まり、お楽しみ会が行われました。きらきらぼしなどのハンドベルの演奏を聴いたりパペット人形が出てきて一緒に歌ったりしました。

エプロンシアターの「おおきなかぶ」がはじまると、絵本でお話を知っていたみつばち組の子どもたちは「うんとこしょ、どっこいしょ」とまるで物語の一員になったように掛け声をかけながらかぶを引っ張る動きをし、お話に入り込んでいました。真剣な表情で見ていたてんとうむし組の子どもたちも、その楽しい雰囲気「やってみたいな」と動きを真似し始め、最初は小さかった掛け声も大きくなっていき「なかなかぬけません」の場面では困ったような表情を見せていました。ありんこ組の子どもたちは初めて見るエプロンシアターに「なにがはじまるのだろう」とじっと見ていましたが、次第にお兄さん、お姉さんの楽しんでいる姿や保育士の表情を見て安心したようで身体を揺らしたり、動物が出てくると身を乗り出したりしていました。最後にかぶがぬけると会場みんなで喜び合いました。

会が終わりお部屋に戻ってからも「きらきらひかる」と歌っている姿や「かぶ」とお話してお楽しみ会が楽しかったことが伝わってきました。





0歳児クラス ありんこ組

南一丁目公園に、初めて行ってきました。
見るものすべてが初めてなので、子どもたちは興味津々です。自分から、ハイハイや歩いてそばに行き、目で見て、触って、楽しんでいました。



これ何かな～



ありを見つけたよ

広い場所や、でこぼこした上をたくさん歩いたりハイハイしたり、ドキドキワクワクしながら面白いことを見つけて、散歩を楽しんでいこうね。

2歳児クラス みつばち組

片道20分程度歩いてすすめのお宿緑地公園へ。
到着すると竹藪をたくさん走ります。たくさん歩いてもまだまだ走るみつばち組は、いつも元気いっぱいです。



みんなでかわいいお散歩バックを作りました。
みんな夢中になって木の实や葉っぱを拾っています。



疲れたけどたくさん歩いて散歩に行けて楽しかったね。
また行こうね。

自然物を使った制作も行っていきます。